

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	上牧町第9期介護保険事業計画策定委員会(第2回)
開 催 日 時	令和5年10月23日(月)13:30~14:50
開 催 場 所	2000年会館 1階 保健指導室
出 席 委 員 (名簿順表記)	・牧浦委員・中村委員・竹島委員・迫委員 ・北委員・西川(眞)委員・尾崎委員・中西委員 ・森安委員・多田委員・赤松委員・植村委員 (計12名)
欠 席 委 員	・森本委員・西川(弘)委員・山田委員
事 務 局	健康福祉部:青山部長 生き生き対策課:林課長、杉分課長補佐、富永係長、長島、松原、北原、 吉田、池上
会 議 次 第	1.開会 2.議事 (1)第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査について (2)第8期介護保険事業計画の進捗と評価 (3)第9期介護保険事業計画素案の検討 (4)その他 3.閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	2人

【議事要旨】

	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none">・会議成立要件の確認(15名中過半数を超える12名出席のため成立)。
	<p>2. 議事(以後、進行は植村会長)</p> <p>(1) 第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査について</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none">● 資料①をもとに説明資料①第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査
委員	<ul style="list-style-type: none">○ 在宅介護実態調査の対象者は65歳以上の方ですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">● 在宅介護実態調査は介護認定をお持ちの方に対して行っておりますので、介護認定をお持ちの方は65歳以上の方ですが、介護されている方を対象に聞き取っておりますので、40代・50代の方も対象です。
委員	<ul style="list-style-type: none">○ その人達全員含まれるってことですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none">● 含まれます。
委員	<ul style="list-style-type: none">○ 日常生活圏域ニーズ調査の家族構成についてですが、夫婦2人暮らしが47.1%、1人暮らしが16.8%ですが、これ以前のアンケートからすると1人暮らしが増えているのか、もしくは我々が昔このあたりに住んでいると大体2世帯が多かったと思うのですが、そのあたりどうなったのか教えてください。また、別世帯ですが近所に娘夫婦が住んでいるということもあると思うのですが、そのあたりも読み取れることがあれば教えてほしいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none">● 考えられることは、年数が経つに従って1人暮らしの方が増えておりますし、夫婦2人暮らしも増えているということは推測できるかなと思います。ただ、どのくらい増えたかということは今資料を持って参りますので後ほどでもよろしいでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none">○ 国勢調査で世帯数が増えて世帯員の数が減っていると統計で出ておりますが、それと同じ傾向が65歳以上でも出ているのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">● 後ほどお答えします。
委員	<ul style="list-style-type: none">○ 6ページ目の相談する相手について「そのような人はいない」が36.8%ですが、そのような人の場合の対応はどうしているのか教えてください。1人で悪く

	なるまで孤独になっているという印象を持ったらいですか。
事務局	● この質問は、「家族や友人・知人以外」というところであり、家族等に相談されている方は入ってこないで、「家族や友人・知人」に相談されている人はいますが、それ以外には相談相手がいないという方になります。実際この方全員が全く相談する相手がいないというわけではないのでご注意ください。
委員	○ 括りが悪いのではないのでしょうか。
会長	○ 意図的にはご家族以外で頼れる人がいるかということで、どれだけ相談支援機関がそういう役割を担っているのかという捉え方になると思います。
事務局	● 先ほどの説明になりますが、令和2年9月に日常生活圏域ニーズ調査を実施しました。3年程度しか経っていませんが、前回の1人暮らしは14.7%です。今回は16.8%ということでやはり増えています。65歳以上で2人暮らしの方の今回は、50.2%でした。今回は2人暮らしの方が減っているという結果になっています。
委員	○ 3ページ目の外出する際の移動手段のところですが、上牧町ではささゆり号等のコミュニティバスがありますが、路線バスに入るのでしょうか。
事務局	● 路線バスに入ります。
委員	○ 5ページ目の参加意向という質問項目が5ページ目以降にいくつかありますよね。疑問ですが、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた参加意向のある方が51.8%になっており、これは間違っていないと思いますが、「既に参加している」は参加意向が当然あるのではないのですか。つまり、「参加したくない」「無回答」の人達はいいいですが、参加していますという人が参加意向なしになるのは違うのではないかと思うので、足していただいた方がより正確になると思います。ただ、ここは参加していないグループより、参加していないグループの中でなお参加したいと思っている方に焦点を当てるのであればこの書き方でもよいと思います。参加していない方に対してできる限り社会に交わってもらいたいという気持ちがあるからというためのアンケートであればこれでいいと思いますが、どこかでその話に触れた方がいいと思いました。一体何に焦点を当てようとしているのかが分からないので、またご検討をお願いします。
委員	○ アンケート内容ですが、人によって捉え方が色々ありますので、他にも色々項目チェックしていただいた方がいいと思います。

事務局	<p>(2) 第 8 期介護保険事業計画の進捗と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資料②をもとに説明 資料②第 8 期介護保険事業計画の進捗と評価
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の虐待についてですが、高齢者虐待の内容のアンケートを行い、把握できないかなと思いました。地域包括支援センターだけでなく、相談所の連絡先通知や窓口を広げる等して気軽に相談できるような所が拡充すればいいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者虐待の窓口は生き活き対策課の地域包括支援センターになっております。高齢者虐待というのは児童虐待よりも内在することがありまして、表に出てきにくく、特に経済搾取も虐待に入ってきますので高齢者の方が声を上げにくいという難しい部分もあります。アンケートに盛り込むというの、国からこのような報告でして下さいという素案が作られているので難しい状況です。近所を歩いており悲鳴が聞こえた等であれば、是非我々に相談していただければ色々調査させていただくこともできます。ただ、高齢者虐待の窓口の周知はしているつもりですが、少ないようであればよりさせていただきます。 <p>地域包括支援センターを運営している事業の内容をかいているパンフレットもあり、高齢者虐待や権利擁護も対応しているということも記載しております。確かに高齢者虐待の窓口の周知がしきれていないところもあると思いますので、また検討していきます。ありがとうございます。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族の介護をしていたら腹が立って叩いてしまうことも出てくると思います。それを虐待と捉えるのかは分かりませんが、そのような場合も出てくると思いますので、検討よろしく願います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護を受けている方が声を上げるのは中々難しいですよね。だから関心を持つ方が増えるということが大事です。仕事をしているプロの方ではなく、近所の方も何かあった際に気軽に窓口で相談するだけでも良いということを周知できればと思います。
	<p>(3) 第 9 期介護保険事業計画素案の検討 (骨子)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 口頭にて説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きく変わったことはないですね。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 成果的事業について強化していった話があります。しかし、8期や9期自体に大きく制度が変わるということはありません。今まで行っていた地域包括ケアの中を更に推進していくという国の指針となっておりますので、今までの取り組みを踏まえた上で今後どうしていくかというところをベースに計画としていけたらと思っています。 <p>(4) その他</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先ほど高齢者虐待のことについてご意見いただきましたが、まず介護というのは介護を受ける側と介護をして下さっている側というパワーバランスがあると思います。だからこそ声に出せないというのが1番の起点だと思っています。介護事業所に関しては行政の皆様から厳しい目で監視していただいています。介護事業所というのは運営指導監査があり、3年に1回行政の方に施設運営が適正に行われているかどうか監査していただいていますので、必ず虐待の報告は大きとりあげられます。虐待防止に関する指針も、事業所ごとに確実に立てるように義務付けられています。事業所も日々気を引き締めながら、年に1回の虐待に関する研修も行っております。そのようなルール作りを行政としてもしていただいています。また、私は施設を見ていただきたいと思っています。コロナ禍もありましたので面会も慎重になりすぎて遅くなりましたが、来月からはご家族様の面会が可能な体制を整えることができました。見ていただき皆様に安心していただきたい。そして見ていただくことで我々も原点に立ち返って緊張感のある中で事業運営を行いたいと思っています。介護という場面は議論の中では身近に感じるかもしれませんが、いざ実際自分がとなるとイメージしづらいと思います。電話1本いただけたら関心のない方でも現場を見ていただきたいと思えます。それが1番安心に繋がると思えます。また気軽に意見等々いただけたらと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回の開催につきましては12月頃を考えています。日が決まり次第お知らせすると同時に、1週間前には資料の配布等もさせていただきたいと思えます。またご協力の程よろしく願いいたします。 <p>7. 閉会</p>